

# 「SSD」

宮杉 浩

この夏に図書館では教員・大学院生用閲覧室（第3閲覧室）のノートパソコンを入れ替え、第1閲覧室や第5閲覧室などで利用できる貸出用ノートパソコンを2台増設しました。格段に性能が上がったパソコンをぜひご利用ください。

さて、今回導入したノートパソコンはSSDタイプと呼ばれているもので、図書館に導入するのは初めてとなります。今回はこの「SSD」についてお話ししたいと思います。

「SSD」とはSolid State Driveの略で記憶装置の一種です。パソコンの記憶装置と言えば今まで「HDD（Hard Disk Drive）」が主流でした。SSDはパソコン内部用の新たな記憶装置として今後の発展が期待されています。

SSDは以前お話ししたUSBメモリと同じでフラッシュメモリにデータを記録するもので仕組みとしては数枚のフラッシュメモリを基盤に組み込ませたものとなっています。内部ディスク（円盤）にデータを書き込むタイプではありません。そのためHDDよりも振動や衝撃に強く、読み込みが早いなどの特徴があります。SSDとHDDの比較をまとめると下記の表になります。

| 比較項目      | SSD       | HDD          |
|-----------|-----------|--------------|
| 処理速度      | 速い        | 遅い           |
| 振動、衝撃への耐性 | 強い        | 弱い           |
| 動作音       | 小さい       | 大きい          |
| 容量        | 小さい       | 大きい          |
| 価格        | 高め        | 低め           |
| 耐久年数      | 書き換え制限による | 物理破損・部品劣化による |

特に処理速度の違いは顕著で、パソコンの立ち上げ、ソフトのインストールなどでHDDとの違いを体感することができます。ただ、まだ新しい技術のため容量、価格がHDD並みになるにはまだ先の話となりそうです。そのような状況を踏まえてか、OSの役割をSSD、データ記憶の役割をHDDとして両記憶媒体を搭載したノートPCが販売されています。

SSDは今後さらなる改良と進化が見込まれており、より大容量、低価格が実現されれば、HDDに完全に取って代わる可能性を秘めています。皆さんも貸出ノートPCなどで一度SSDに触れていただければと思います。

みやすぎ ひろし（係長補佐・管理運営課）